

# 「クールジャパン高校生ストーリーコンテスト」応募用紙

縁結び『島田飴』によるクールジャパン！  
～日本伝統文化と技術継承による新たな発見～

学校名	みやぎけんのうぎょうこうとうがっこう 宮城県農業高等学校		
グループ名	のうぎょうけいえいしゃくらぶ 農業経営者クラブ		
①	リーダー	むなかた みう 宗形 未海	農業科2年生 女性
②	グループ	さいき たける 祭城 武	食品化学科3年生 男性

## 1 ストーリーのタイトル・概要

タイトル	縁結び『島田飴』によるクールジャパン！ ～日本伝統文化と技術継承による新たな発見～	
ストーリーの概要	<p>ターゲットは現在増加している外国人観光客です。特にそのほとんどを占めるのはアジア系外国人で、日本の和装、伝統文化に強い興味があります。</p> <p>東京浅草においてカップル2人で着物を着ているのは外国人観光客の方がほとんどです。外国人観光客にアンケート調査を行うと着物が好きな方は、和装結婚に対しても興味を持っていることが判りました。</p> <p>着目したのが400年以上前から宮城県大和町に伝わる伝統文化の『島田飴まつり』×『和装結婚』です。これは、歴史を持つ良縁の祭典で、和装した花嫁道中行列などのイベントも催されています。なんとか、この『島田飴まつり』と『和装結婚』を組み合わせたストーリーを外国人観光客に広められないか活動を開始しました。</p> <p>神前式とは家同士を結び付けるのが結婚であるという考え方に基づいて行わ</p>	

	<p>れます。そこに『島田飴まつり』を組み合わせることで『和装』×『神前式』×『道中』といった日本独特の文化を体験しながら結婚式を行えるのではと考えました。</p> <p>日本でも安心して挙式ができるような態勢を整え、ガイドブックなどの作成し、HP や SNS での海外に向けた情報発信を行い、『挙式を挙げたい!』と考えた方に宮城県大和町を訪れてもらいます。『島田飴まつり』で歴史と文化に触れながら『和装結婚』を家族や街全体でお祝いを行います。</p> <p>このストーリーは大和町の伝統行事の継承、観光資源、現在需要が高まる『和装結婚』の普及に繋がります。東京オリンピック開催後、海外からの日本文化の注目度は高くなります。</p> <p>今こそ、宮城の伝統文化『島田飴まつり』×『和装結婚』を海外に発信し、文化継承に繋がります!</p>
--	---



島田飴まつり

## 2 プランを思いついたきっかけ・目的

<p>ストーリーを 思いついた きっかけ・目的</p>	<p>外国人向け和装結婚を行いたいという想いから、日本文化を感じられる伝統的行事を探し始めました。そんな時、母から宮城県大和町に『島田飴祭』があると聞いたのがキッカケで調査することになりました。</p> <p>大和町出身の先生に詳しくお話を伺うと、『島田飴祭』が良縁の祭典であることや和服での花嫁道中行列、島田飴の歴史を知りました。なんと現在、宮城県でもこの文化は忘れられる寸前だったのです。だからこそ『島田飴祭』×『和装結婚』を行うことで日本文化の継承、海外発信に繋がると考えました。これこそが探し求めていた日本らしい伝統行事、クールジャパンだと思いました。</p>
-------------------------------------	--

## 3 ストーリー・内容

## 【ストーリー名：島田飴が紡ぐ良縁の結婚式】

### ストーリーの内容

島田飴は 400 年以上前か地元の宮城県に継承される伝統です。女性の髪を模した『島田飴を八幡神社に奉納すると翌年良縁に恵まれる』と言い伝えられています。

地元の人からも忘れ去られようとしている日本の素晴ら

しい伝統文化を、外国人観光客に伝えることで魅力ある海外挙式になると考えました。



外国人の神前式

### こだわり①

**島田飴**：島田飴は宮城県大和町の吉田さんの手によって生み出されるものです。**島田飴まつり**には1個1000円で販売されますが、限定1000個はすぐに完売します。外国から来た方には、優先して**島田飴**を確保して職人技が光る一品をお渡します。



限定品の島田飴

### こだわり②

**本物の和装**：古来日本の婚礼に使用される**白無垢**をご準備します。観光地の多くで着ることのできる和服は安めの着物が多いと思います。そこで、本物の**白無垢**を着て頂くことで日本の伝統を重んじる心を体験し、特別な時間を提供

します。プロの写真家による撮影も実施して良縁をお助けします。



白無垢

### こだわり③

**こだわり③**：町をあげての特別な演出を行います。それは『**花嫁道中行列**』です。これは『島田飴まつり』において開催されるものですが、外国人観光客について要望があれば町を上げて良縁を結ぶためのイベントを開催します。日

本の『**おもてなし**』こそ**最大のクールジャパン**だと考え、最大限、外国人観光客に感動を与えます。



花嫁道中行列

### 既存のサービスとの違い

## 【既存のサービスとの違い】

外国人観光客の増加に伴い、様々な観光客をターゲットにしたサービスが誕生しています。その中で、「和服を着る」という同様のサービスが全国にありますが、他では簡単に着ることが出来る着物や浴衣が非常に多いのが現状です。私達は『**おもてなしの心**』を持って全て最上級の本物を提供したいと考えています。

	<p>これほど、手間のかかるサービスは全国をみても他にはないと思います。だからこそ、1日に体験できる外国人観光客は限られてしまいます。しかし、最大限のサービスを受けた外国人観光客は必ずSNS等で拡散し、口コミで多くの方が来訪してくれると信じています。</p>
--	---

#### 4 顧客（商品・サービスを販売する先）

<p>想定している 顧客 (ターゲット)</p>	<p>ターゲット① アジア系外国人：中国、韓国、台湾等 <b>24,700,000人</b> (2017年度統計データ)。近年の経済発展により非常に多くなりました。未婚の方も多く、良縁に興味を持ってくれます。</p> <p>ターゲット② ヨーロッパ系外国人：英国、フランス、ドイツ等 <b>1,520,000人</b> (2017年度統計データ)。日本のアニメや文化に興味を持つ人が多く訪日します。</p> <p>ターゲット③ アメリカ人：<b>1,370,000人</b> (2017年度農水省データ)。日本と深い縁があるアメリカ人は日本文化を勉強したいと考える人も多く、グローバルな社会を築くために、多くの方が来訪してくれます。</p>
<p>具体的な販売や 提供方法、 広告方法</p>	<p style="text-align: center;"><b>【販売方法】</b></p> <p>① <b>インターネット</b>により申込みを受け付けて、受付を行います。観光客の要望に応じて商品ラインナップとして様々なサービスを準備いたします。</p> <p>② 実際に宮城県に訪れて頂き、店頭で受付して、着物やサービスを受けます。着物は取り揃える店舗を準備して試着してもらいます。実際にお客様の目に付き、手に取ってもらえます。</p> <p style="text-align: center;"><b>【広告方法】</b></p> <div style="text-align: right;">  </div>



	<p>広告やポスターには外国人の方が着物をきている写真を使用します。インスタ映え狙ってツイッター、インスタグラムに投稿して口コミで広がり、広告費を抑えられます。</p>
--	--

## 5 必要な経営資源等

<p><b>必要な人・物</b></p>	<p>《人材・モノ》</p> <p>島田飴製作者：島田飴を作り、安定供給してくれる方。          着付けする人：外国人に着付けをして、着物を管理してくれる方。          受付と広報：インターネットや電話受付を行い、全体を総括する方。          住民：町ぐるみで外国人を受け入れるためにも地元住民。</p> <p>《技術伝承》</p> <p>島田飴を作る人がすくなくなってなっています。素晴らしい伝統を継承する必要があります。過疎化が進む今こそ、人を呼び込むことで伝統を守らなければなりません。</p>
<p><b>実現に向けて考えられる課題</b></p>	<p>課題：住民の理解</p> <p>静かな町に大量の外国人観光客が来訪した場合、それを嫌がる住民の方がいると思います。</p> <p>解決：丁寧な説明と将来の夢</p> <p>しかし、このまま何もしなければ島田飴も島田飴まつりも風化して忘れ去られるかもしれません。人口が減るからこそ、外国人の方を受け入れて、町の活性化を図るべきだと思います。丁寧にお話することで、理解を得ることができると思います。</p>

## 6 調査、ヒアリング結果

<p>仙台空港において外国人観光客にヒアリングを行いました。</p> <p>島田飴の企画を説明してどのように思うかを聞いたところ、7割の方から「非常に良い」や「良い」ストーリーと認めて頂きました。中には「自分も日本に伝統的な結婚式には興味がある」と答えてくれた方もいました。</p> <p>外国人の方は日本の食はもちろんですが、文化や伝統に触れたいと考える人が多い事が判りました。私達のストーリーが一つの形になれば、地元が抱える課題を少しでも解決できると思えました。</p>	<p><b>アンケート結果</b></p> <table border="1"> <caption>アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に良い</td> <td>7割</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>不明</td> </tr> </tbody> </table>	評価	割合	非常に良い	7割	良い	不明	普通	不明	悪い	不明
評価	割合										
非常に良い	7割										
良い	不明										
普通	不明										
悪い	不明										

縁結び『島田飴』によるクールジャパン！  
 ～日本伝統文化と技術継承による新たな発見～

## 1. 『島田飴』と『島田祭り』の起源

400年以上前、歳の暮れに旅をしていた神主様が村に立ち寄ると美しい島田のお嫁さんと出くわしました。神主様はこの「高島田のお嫁さん」に一目ぼれしてしまいました。



お嫁さんのことを思い出しては、一人悩む日々を続けると、いつしか病を患ってしまいました。

心配した村人たちは、話し合いをして島田の髪をかたどった飴を八幡神社へ奉納して、慰問することにしました。

神主様はこの島田の飴をととても気に入り、食べると薬を服用してないのに、すぐに病気は治ってしまいました。



神主様は村人達に感謝して歳の暮れには飴を使った縁結びの祭りをするようになったのです。

これが、島田飴と島田飴祭りの発祥となりました。

## 2. 『島田まつり』と『島田飴』とは

歳の暮れ、12月14日は縁結びの伝統行事の島田飴まつりの開催日です。

島田飴の奉納の為、花嫁を初めとした和装の人々が、吉岡八幡神社周辺を練り歩く『花嫁道仲行列』が同時開催されます。



この時に宮城県大和町吉岡にある八幡神社へ奉納される高島田の髪をかたどった飴が**島田飴**です。

年に一度のご縁日に島田飴を手に入れて、八幡様に願いをかければ翌年には良縁になれます。



高島田の髪を模して作った島田飴

## 3.

### ストーリーの着眼点

「ハワイで結婚式がしてみたい」とある友人が言っていました。日本でもチャペルはあるし、綺麗な海が見える式場もある、それでも日本人はハワイを含めた海外挙式を挙げています。何故なのでしょう  
か？



調べてみると日本では味わえないロケーションやそのまま滞在しハネムーンを楽しめるといった理由が挙げられていることに気が付きました。

ならば、日本の結婚式にも同様の魅力を見出し、発信することができれば**外国人の方に日本で結婚式を挙げてもらえる**と考え、外国人のための和装結婚式を行うことを考えました。

何か策がないか考え悩んでいる時、私の母が「**島田飴祭りって知ってる？**」と教えてくれました

た。また、偶然ながら大和町出身の先生いて詳

しく話を伺うことができました。

島田飴祭りは **400 年**の歴史を持つ良縁の祭典で、花嫁道中行列などのイベントも催されています。

私達はこの**島田飴祭り**と**和装結婚式**を組み合わせることに着眼しました。

## 4. 世界の人々の視点

神前式とは、日本の伝統的なしきたりに沿って結婚の儀式を行うウェディングスタイルです。家同士を結び付けるのが結婚であるという考え方に基づいて行われます。そこに島田飴祭りを組み合わせることで「**和装**」  
×「**神前式**」×「**道中**」  
といった日本独特の文化を体験しながら結婚式を行えるのではと考えました。



京都、浅草などで観光をしている外国人が増えています。そこから外国人の間で和装や日本文化などに注目が集まっています。そういったものに興味のある外国人にウケると考えました。

## 5. ストーリーの魅力

結婚式の形式は神社で和装をして行うことができる神前式にすることにしました。そこに、日本独特の文化のお色直しをすることで形式的なものだけでなく気に入った和服を着てもらえます。

神前式には和装をしなければならないという決まりは無く洋装での参列も可能なのでゲストの方にも気軽に参加してもらえます。

主なターゲットは外国人観光客ですが、多くの人に体験してもらえるように宗教ごとに食べ物や服装などに対応できるようにします。

また、結婚式だけでなく銀婚式や金婚式も行うことで既婚者の方にも日本の文化を体験してもらえます。



理由	人数
日本文化に興味ある	19
日本食に興味がある	31
和装に興味がある	16

### 外国人観光客への聞き込み

## 6. ストーリー化へのプロセス

外国人向け和装結婚を行いたいという思いから、日本文化を感じられる伝統的な挙式を探し始めました。そんな時、母から宮城県大和町に『島田飴祭』があると聞いたのがキッカケで調査することにしました。そこから大和町出身の先生に詳しくお話を伺い、『島田飴祭』が良縁の祭典であることや和服での花嫁道中行列、島田飴の歴史を知りました。なんと現在、宮城県でもこの文化は忘れられる寸前だったのです。だからこそ『島田飴祭』×『和装結婚』を行うことで日本文化の継承、海外発信に繋がると考えました。これこそが探し求めていた日本らしい伝統行事はクールジャパンだと思いました。

これに外国人向け和装結婚を取り入れる為に具体的なストーリーを考えました。

ターゲットは現在増加している外国人観光客。特にそのほとんどを占めるアジア系外国人で、日本の和装、伝統文化に興味があり和装結婚を希望する方々です。

まず、海外の方でも安心して挙式ができるような態勢を整え、ガイドブックなどの作成、HP や SNS での海外に向けた情報発信を行います。そして、この情報を見て『挙式を挙げたい!』と考えた方に宮城県の大和町を訪れてもらい、島田飴祭で歴史と文化に触れながら和装結婚を行います。

このストーリーは大和町の伝統行事の継承、観光資源、現在需要が高まる和装結婚の普及に繋がります。東京オリンピック開催後、海外からの日本文化の注目度は高くなります。

今こそ、宮城の伝統文化『島田飴祭』×『和装結婚』を海外に発信し、文化継承に繋がります！